

休日の確保に向けて「建設現場における週休2日の取り組みモデル工事」試行（案）

■H29年度の取り組み

工事工程の受発注者間の共有
積算基準等に基づく ※工期算定支援システム活用を原則
工期の設定根拠を特記仕様書で提示
施工条件確認部会と工程調整部会の開催を原則化 ※ただし、受注者が開催を希望しない場合に限り、未開催を可とする
—
—
全ての工事

	週休2日実施支援モデル工事	週休2日実施支援モデル工事 (工程共有強化型)
工期設定	積算基準等に基づく ※工期算定支援システム活用を原則	同左
入札段階	工期の設定根拠を特記仕様書で提示	同左
契約後段階	施工条件確認部会と工程調整部会を開催 ※ モデル工事として希望した場合は開催必須 ● 工程共有表(CCS等)に休日計画・実績を明記	同左 ※同左（開催、計画明記） 加えて、 工程調整部会を1回/月以上開催
間接費の補正	達成（現場閉所・4週8休相当）できた場合に設計変更にて補正計上	同左
成績評価	達成できた場合に評価 未達成の場合でもペナルティ無し	同左

クリティカル工程共有表 (CCS) (例) ○○○トンネル舗装工事

受注者	工種	種目	数量	単位	日当り施工量	実施工日数	所要日数	受注者							
								数量		日当り施工量		実施工日数		所要日数	
注	準備工	路盤掘削	1	式			40	[Gantt Chart]							
	舗装工	上層路盤 M-40	5,000	m ²	29.472	170	5	[Gantt Chart]							
		C O 版 t=250mm 曲4.5-6.5-408B	4,900	m ²	29.472	167	22	[Gantt Chart]							
		すり付版 (7スリット舗装) (上:表層、下:基層)	65	m ²	2.300	0	2	[Gantt Chart]							
後片付け		1	式			20	[Gantt Chart]								
共用	工事円滑化推進会議							週休2日(現場閉所)の計画と実績	計画	実施	[Gantt Chart]				
	照会結果検討部会(工事連携会議)							〇/△	〇/△	[Gantt Chart]					
	施工条件確認部会							〇/△	〇/△	[Gantt Chart]					
	工事・事業情報共有部会							—	—	[Gantt Chart]					
	工程調整部会							〇/△	〇/△	[Gantt Chart]					
発注者	1. 工程に影響を受ける他の工事							計画	実施	[Gantt Chart]					
	2. 関係機関等との協議の結果、工程に影響を受ける内容							〇/△	〇/△	[Gantt Chart]					

平成●年●月●日作成

中略

「計画」欄に、現場閉所日を記載(対応)
現場を閉所する日を塗りつぶす

「実施」欄に、現場閉所した日を記載(対応)
現場を閉所した日を塗りつぶす

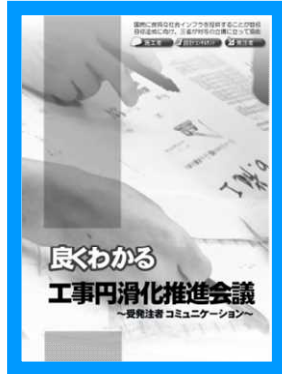
現場閉所計画日数計○日(最低日数計○日)
現場閉所日数計○日

実施欄に、現場閉所の日数計を記載(対応)
計画日数以上もしくは最低日数以上の現場閉所日数を確保できたかを確認

工程に見込む作業不能日数
(休日:40日、雨天・凍雪・降雪・波浪:22日)

- ### <工程共有表(CCS等)利用のポイント>
- 発注者は「施工条件確認部会」の開催前までに、チェックリスト結果をもとにCCSの発注者部分(関係機関協議の完了時期、余裕工期などの工程に関わる施工条件)を作成する。
 - 工事契約ののち、「施工条件確認部会」において、発注者から受注者へCCSを渡し、受注者は受注者部分を記入し、CCS当初を完成させる。
 - 完成させた当初CCSを受発注者が共有する。
 - 工程調整の必要が生じた場合、CCSを用いて工程調整部会を開催する。

※工程形式は、ネットワーク形式、バーチャート形式を問わない



北陸地方整備局 よくわかる○○シリーズ 検索

※工事に合わせて適宜項目を追加の上、ご活用ねがいます。